四季折々　奈良が紡ぐ多彩な魅力を

奈良まほろば館

2026 Dec. 12

奈良市とウズベキスタン・サマルカンド市の友好姉妹都市5周年を記念した特別POPUPを開催！

12月15日(火)～12月30日(水)



展示

青の記憶 ― サマルカンド、シルクロードの光と人々 ―

青の都サマルカンド。陽光に輝く青いタイルと壮麗な建築、街角で出会った人々の表情に魅せられ、レンズを向けました。シルクロードで結ばれた奈良とサマルカンド。2027年、奈良国立博物館で開催される特別展に先立ち、その光と人々の営みをご紹介します。



物販

遥かなるシルクロードに思いを馳せる、ここでしか出会えない奈良の自慢の品々が大集合します。奈良と青の都が織りなす魅惑の世界を、ぜひこの機会に体感してみませんか？

イベント各種



物販 **チャレンジリーグ** 12月1日(火)～22日(火)

首都圏のお客様にご紹介したい奈良の隠れた逸品や新商品を販売するまほろばチャレンジリーグ第2回を実施します。
約3週間の販売期間の中でお客様からご支持いただけた売れ行き好調な商品は、リーグ終了後3ヶ月間、奈良まほろば館の定番商品として販売が継続されます。作り手のこだわりが詰まった商品を、この機会にぜひお買い求めください！



カフェ

カフェで楽しむ、あつあつカルツォーネ

12月10日(木)～25日(金)

焼きたてのおいしさを閉じ込める、特別な冷凍技術「プロトン凍結」を活用したカルツォーネをカフェにてご提供します。外はこんがり香ばしく、中はふんわり、もっちり。ひと口頬張れば、生地の豊かな風味と具材のおいしさが口いっぱいに広がります。冷凍とは思えない、まるで焼きたてのような本格的な味わいをぜひお楽しみください。

展示

小寺慧 消しゴムはん画カレンダー展

12月1日(火)～14日(月) ※最終日は16時まで

奈良の行事や風景を題材にした消しゴムはん画作品の展示と、2027年版オリジナルカレンダー(12枚1組)を販売いたします。鹿や正倉院宝物をはじめ、いろんな奈良のひとコマから季節を感じていただけたら嬉しいです。





イベント

くだものと夜更かし ～BAR堀内果実園～

12月11日(金)19:00～20:00
定員：13名

吉野の大自然が育んだ果実の美味しさを届ける「堀内果実園」が、奈良のアンテナショップで一夜限りのバーをひらきます。ピリッとスパイシーなジンジャーシロップで仕立てる大人のアルコールカクテルと、凝縮された果実の甘みに芳醇なバターが重なる「あんぽ柿バターサンド」。香りと食感が響きあう贅沢なペアリングをご堪能ください。



カフェ **お雑煮メニュー**

2027年1月3日(日)～17(日)
11:00～19:30(L.O.19:00)

今年も奈良のお雑煮をお召し上がりください！白味噌仕立で雑煮から丸餅を取り出し、砂糖入りきな粉につけて食べます。黄色のきな粉に米の豊作の願いをこめて。
(期間中はお雑煮メニューのみの提供となります)

4つのアンテナショップお雑煮スタンプラリー開催　2027年1月2日(土)～17(日)

裏面もご覧ください ▶

第891回 春日若宮おん祭

（国指定重要無形民俗文化財）

春日大社は、奈良時代の神護景雲二年（768）、古来「神地」として信仰されていた御蓋山（三笠山）の山麓に平城京の守護として創祀されました。それから二百三十年余り後、平安時代の長保五年（1003）、同社にお祀りされた、ご夫婦の神々の御子神として誕生されたのが、おん祭の御祭神である若宮様（天押雲根命）です。

そして、保延元年（1135）、白河上皇、鳥羽上皇、関白藤原忠通、関白の父親であり実力者の前関白藤原忠実、関白の弟である左大臣藤原頼長が若宮様の強い御加護を願われ、現在の場所に若宮社の御本殿が創建されます。その翌年から、五穀豊穣・万民和楽等を祈願し大和一国の祭として、今日まで約九百年連綿と続くおん祭を始めたとされます。また、祭礼の主導を担ったのは春日社興福寺と言われています。



御渡り式（田楽座）


暁祭（深夜のお旅所）


還幸の儀（参道を二本の大松明と沈香で清める）

還幸の儀 ―深夜、浄闇の参道をお旅所へ

十二月十七日午前零時、若宮様は御本殿を出て約一キロ先の「お旅所」を目指します。参道は全ての灯火を滅して謹慎する浄闇の中、古式の作法により榊の枝で御神霊を幾重にも囲み、神職らが「をーっ、をーっ」という警蹕の声を絶え間なく発して、雅楽を奏する楽人とともに進みます。古の春日の杜の夜にタイムスリップしたように感じるひととき、一度は見たい行事です（撮影は禁止）。


細男（お旅所での奉納）

不思議な細男舞

同日正午に奈良県庁前を出発した約千人の御渡り式の行列がお旅所に到着すると、次にお旅所祭が斎行されます。宮司の祝詞奏上、参列者の拝礼などが済むと、お旅所では午後三時半頃から神遊が始まり、午後十時半頃まで各種芸能が奉納されます。神楽、田楽、細男、猿楽（能楽）、舞楽、和舞などが、一段高い芝舞台で次々と披露され、生きた日本芸能史とも評されます。

中でも特に珍しいのが細男舞ではないでしょうか。日が暮れかかった頃、白い浄衣を着た六人の舞人が芝舞台に上がります。内四人は白い布を目の下に垂らして顔を隠し、その中の二人は小鼓を手にします。布を垂らさない二人は笛の役を担当します。まず、覆面の者二人が身を屈め、左袖で顔を隠しながら前に進み、やがて左右に分かれて元の座に戻る…といった奇妙な所作が繰り返されます。

これは、神功皇后が海から現れた磯良という者より潮の干満を自在にする珠を得た折、磯良は貝殻が顔について醜いのを恥じ、覆面をしていたとの故事に由来するそうです。まだ不明の点は多いのですが、おん祭創始の翌年には田楽と並んで演じられている記録がありその歴史は古いといえます。ほかではめったに観ることがないこの不思議な細男舞、ぜひおん祭のお旅所でご覧ください。

（K・N生）

春日若宮おん祭公式サイト
https://onmatsuri.kasugataisha.or.jp

写真提供・春日大社

展示・物販に関するお問い合わせはお電話で

奈良まほろば館
03-6263-9656
Shop 11:00～20:00
Cafe& Bar まほら 11:00～19:30(L.O. 19:00)
〒105-0004 東京都港区新橋1-8-4 SMBC新橋ビル1階
● JR新橋駅銀座口より徒歩約3分 ● 東京メトロ銀座線新橋駅1番出口より徒歩約3分 ● 東京メトロ銀座線銀座駅A1出口より徒歩約8分

奈良まほろば館ホームページ
https://www.pref.nara.lg.jp/site/nara-mahoroba/index.html
イベントの詳細は、ホームページで随時案内いたします。

＼まほろば館のSNSはこちら／
Facebook Instagram

イベントルームおよびレストランTOKiは、令和8年9月末をもって運営を終了いたしました。これまでご利用いただいた皆さまに、心より感謝申し上げます。
なお、1階ショップ・カフェは、今後も営業を継続する予定です。引き続きご愛顧のほど、よろしくお願いいたします。

奈良県事務所（移住相談） TEL 03-5212-9096
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館9階 平日（月曜～金曜）9:00～17:45〈移住相談は9:15～17:30〉
● 東京メトロ有楽町線・半蔵門線「永田町駅」5番出口から徒歩約1分 ● 東京メトロ南北線「永田町駅」9番b出口から徒歩約1分 ● 東京メトロ丸の内線・銀座線「赤坂見附駅」から徒歩約5分

奈良まほろば館奈良県事務所は、令和8年10月1日をもって左記住所へ移転いたしました。移転に伴い、電話番号も変更となりましたので、お知らせいたします。